

令和5年度第5回地方独立行政法人たつの市民病院機構評価委員会
—議事録—

日 時	令和5年11月28日(火)午後3時00分から午後4時45分まで
場 所	たつの市役所新館3階 301・302会議室
出席者	松田委員長、朝家委員、井上委員、岸田委員
欠席者	古橋副委員長
たつの市 病院機構	杉本企画課長、神尾財政課長、浜松企画課係長、沖田企画課主査 嶋田理事長、白井理事、大井副院長兼法人事務局長 嶋谷法人事務局主幹、高田課長補佐、井口課長補佐、土井事務員
傍聴者	なし

1 開 会(午後3時00分)

2 協議・報告事項

(1) 第2期中期計画(案)について【議題1】

病院機構が議題冊子(P1~18)、参考資料冊子(P1~52)、当日資料(P1~4)に沿って説明

介護老人保健施設の取り壊しについて

委 員 : 介護老人保健事業について、今年度末での事業廃止を予定されていますが、跡地は第2期期間中に解体を予定していますか。

病 院 機 構 : 現時点では、第2期期間中の解体を予定しています。

委 員 : 解体費用についてはいかがですか。

病 院 機 構 : 第1期期間中において既に財務諸表の資産除去債務として負債項目に約37百万円を計上しています。しかしながら、解体業者からアスベスト含有の可能性があると指摘を受けており、今後費用が増加することも予想されます。

委 員 : 鉄くず(スクラップ)の市場価格が上昇しており、鉄骨造の建物では、解体した場合、利益が出る場合もあると聞きますが、建物の構造は。

病 院 機 構 : 鉄筋コンクリート造2階建

委 員 : 鉄筋コンクリート造では鉄くずはそこまで含まれていないかもしれないですね。また、アスベストが含有していた場合、資産除去債務に計上している解体費用だけでは足りないのではないかと思います。

病 院 機 構 : 解体時期、解体費用等は今後、市と協議の上進めていきます。

医業収益対給与費比率について

委 員 : 参考資料23ページの指標について、直近の令和4年度実績と比較すると病床利用率は増加を予想され、材料費比率は見直し等により減

少を予想されています。このような中、医業収益対給与費比率は7%程度増加する目標となっておりますが、要因がありますか。

病院機構： 医業収益対給与費比率が増加する要因としましては、分母となる医業収益から、これまでのコロナ関連の収益を差し引きすると今後収益が減少する見込みであり、必然的に給与費に対する比率が増加することになります。

医業収益の減少に対し、人件費を減少できれば良いのですが、現状の診療体制を維持する上では職員を確保する必要があり、人件費の削減は難しいと思います。

事前質問について

事前質問 中期計画の数値目標は、「令和4年度実績」から改善や向上がなされた結果が「令和9年度目標値」であり、向上(改善)値であるはずですが、「令和9年度目標値」が下がっているものがあります。また、令和5年度計画値においても下がっているものがあります。理由(根拠)を説明してください。

計画の内容には、改善や向上、充実を図るなどの記載が書かれていますが、目標値を下げる状況認識は記載されていません。

議題資料6ページ(2)患者満足度の向上

「外来患者満足度(%)」

令和4年度実績 94.0 ➡ 令和9年目標値 90.0

回答 外来患者の満足度については、全国平均が64.7%となっている中、令和4年度実績を含め高い水準で推移しており、一定の基準を満たしていると考えています。

職員の入れ替わりや対応する職員が多い外来において継続して90%の高水準を安定的に維持していくことを重視した目標としました。

事前質問 議題資料7ページ(2)職員の接遇向上

「外来患者接遇満足度(%)」

令和4年度実績 100.0 ➡ 令和9年目標値 90.0

回答 外来患者接遇満足度についても、全国平均が63.5%となっている中、令和4年度実績を含め高い水準で推移しており、一定の基準を満たしていると考えています。職員の入れ替わりや対応する職員が多い外来において継続して90%の高水準を安定的に維持していくことを重視した目標としました。

委員： 目標値の位置づけとして、第1期から下がることは良くないと思います。どうしても下がるのであれば仕方ないですが、下がる根拠を明確にしなければなりません。

病院機構： 第1期中は【R2(95.5%)、R3(95.9%)、R4(94.0%)】とかなり高い実績を計上できていますが、第2期からはこれまでのアンケート内容や集計方

法を見直す予定であり、それらを踏まえると今後下がることが予想され、この目標設定としました。

また、「外来患者満足度」と「外来患者接遇満足度」は、同じ対象者に、同じタイミングでアンケートを実施しています。

委員： アンケート内容や集計方法を見直すことで、実績が下がるという点が理解できません。

病院機構： 現状、職員の面前でアンケートに回答いただいているので、指摘事項や不満点等が記入し難い状況になっていないか等、今後、集計方法やアンケート内容を検証していきたいと考えています。

委員： 指標の設定に当たり、アンケートに問題があったとする説明が非常に気になります。これまでの実績を踏まえ、今後もそれらを維持していく内容とすべきではないでしょうか。

アンケート内容の変更や集計方法の見直しをするのであれば、毎年度の自己評価において、変更点等を加味し評価すれば良いのではないのでしょうか。

委員： 目標指標を下方修正するのであれば、アンケート内容や集計方法を見直すことで、どの程度指標に影響するのかなど根拠をしっかりと示す必要があると思います。

事前質問 議題資料9ページ
(2)働きやすい職場環境の確保と働き方改革への対応
「年間有給取得日数(日)」
令和4年度実績 12.7 ➡ 令和9年度目標値 12.4
※働き方改革は、役員等が実行すべき「ガバナンス改革」の柱となります。目標値が下がることに問題点はありませんか。

回答 年間有給取得日数については、全国平均値が9.9日となっており、令和4年度までの実績から一定の有給取得は確保ができていると考えています。

取得日数の取組として、病院という職場上、ほとんどの部署が土日も含めたシフト業務であり、現在各部署毎月一人が1日の有給休暇取得する対応を推進しています。

第2期に向けては、その方向性を確保しながらも、取得しやすい環境整備や声かけに取り組むことで、基本目標としていた第1期の年間12日から少しずつ上昇する目標といたしました。

病院機構： 上記の回答内容に加え、令和4年度実績値には、介護老人保健施設の休止に伴い退職した職員の有給休暇消化分が含まれているため、例年と比べても非常に高い実績となっています。

委員： 理解できました。

事前質問 議題資料9ページ
(1)病床利用率・診療単価の向上

「1日平均外来患者数(人)」

令和4年度実績 175.7 ➡ 令和9年度目標値 154.5

「入院診療単価」

令和4年度実績 42,483 ➡ 令和9年度目標値 39,800

「外来診療単価」

令和4年度実績 10,313 ➡ 令和9年度目標値 9,600

回 答 今回、経営指標の目標を設定するに当たり、令和2年度から令和4年度の収益や費用は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けています。

令和9年度の目標値や収支計画については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを踏まえ、令和5年度の上半期の実績から新型コロナウイルス感染症に係る診療実績を除き算出いたしました。

その結果として、令和5年度実績は令和4年度実績を下回る見込みとなりますが、少しずつ上昇する目標を設定しています。

なお、財政計画に係る目標につきましては、国の「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」において専門家のご助言を踏まえ、確認いただきながら作成しています。

事前質問 議題資料11・18・39ページ

(1)中期目標期間の経営

「経常収支比率(%)」

令和4年度実績 108.8 ➡ 令和9年度目標値 102.3

【参考資料】令和5年度計画値 100.9

「医業収支比率(%)」

令和4年度実績 97.6 ➡ 令和9年度目標値 95.8

【参考資料】令和5年度計画値 92.7

「修正医業収支比率(%)」

令和4年度実績 95.0 ➡ 令和9年度目標値 93.1

【参考資料】令和5年度計画値 90.1

※重要な経営指標であります、法人の経営を取り巻く状況認識をご説明願います。

回 答 当該目標についても、令和2年度から令和4年度の収益や費用は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けています。

令和9年度の目標値や収支計画については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを踏まえ、令和5年度の上半期の実績から新型コロナウイルス感染症に係る診療実績を除き算出いたしました。

令和5年度上半期の実績は、経常収支比率105.7%、医業収支比率95.1%、修正医業収支比率90.4%となっておりますが、10月以降は新型コロナウイルス感染症の診療単価も変更され、昨年度と比較す

ると減少見込みです。

以上の点を踏まえ、医療環境が大きく変化していく中で現状に即した見込みの中での目標設定とさせていただきます。

事前質問 議題資料8ページ

(5)デジタル化の推進

見出しの改訂案(修正が可能であれば)

デジタル化の推進 → デジタル化の推進と情報セキュリティの強化

回答 中期計画の見出しは、前回協議いただきました中期目標の見出しと整合を図っており、「デジタル化の推進」のままとします。

委員： 見出しの修正が出来ないことは承知しました。なお、中期計画の本文には情報セキュリティ強化の内容もきっちりと記載してください。

事前質問 議題資料11ページ

(1)材料費の抑制

令和4年度実績 14.1 → 令和9年度目標値 10.1

大幅な改善が計画されています。その理由は何ですか。

回答 材料費について、令和4年度実績と比較して、今後はコロナ感染症対応に係る医薬品費や感染防護具等の診療材料費、高額な手術に係る診療材料費の実績等は減少する見込みであることを踏まえ、現状に即した目標値の設定とさせていただきます。

当日質問について

委員： 議題資料17ページの施設及び整備に関する計画では、施設、医療機器等整備に188百万円が計上されていますが、医療機器等の購入はこの程度の金額で済みますか。他の医療機関と比べ非常に少ない印象を受けました。

病院機構： 第1期期間(330百万円程度)にて、電子カルテやCTをはじめ高額な医療機器を整備することができており、第2期は、これまで整備した医療機器の更新が中心となります。また、更新機器についても、使用頻度等を見極め取捨選択に努める方針です。

委員： 参考資料12ページの年度計画指標である「1か月間100床当たりのインシデント・アクシデント報告回数(回/月)」について、インシデント件数とアクシデント件数を合算した理由と、目標値の設定根拠をご説明いただきたい。

病院機構： 目標指標として設定した理由は、まず他院の医療安全部門でも同様に数値目標として採用されているということです。

次に、アクシデントが発生してからではなく、未然に防止するといった職員の意識・風土を醸成し、職員に医療安全の意識を常に持ってもらいたいと考え設定しました。

委員： インシデント・アクシデントを職員から報告させることは、組織の風土

や雰囲気にも左右されるので難しい指標だと思います。

委員： ヒヤリハットの数値は報告に含まれますか。

病院機構： ヒヤリハットの数値も含め報告をいただくことを想定しています。

電子カルテシステムの導入によって、システム内で様々な報告を行うことが可能となり、ヒヤリハット等事務的な内容も含め報告する体制を整備したいと考えています。

委員： 報告件数が多い方が良いのか、少ない方が良いのかが分かりにくい。民間の場合では、追加費用の発生や、顧客からの苦情がでた内容については、きっちりとした報告が挙がってきますが、社内で解決できる内容は報告されないケースも多いのが実情です。

病院機構： 職員の医療安全意識を高め、アクシデントを未然に防ぐことで医療サービスの質の向上に繋がりたいと考えています。

理事長： ハインリッヒの法則(1つの重大事故が発生するまでには、29の軽微な事象があり、300のヒヤリハット事例がある)を参考に、重大事故が発生する前の未然に起こる様々な事象を集め、対策を講じるために今回新たな目標指標としました。

万が一、医療事故が発生した際に隠蔽する可能性がないよう、また、大きな医療事故に繋がらないよう、軽微な事象を常日頃から報告いただき、職員同士で共有することが重要だと考えています。

委員： 説明を聞いて理解できました。

委員： 議題資料3ページ「糖尿病を得意とする医師の確保に努め・・・」とありますが、「得意とする」とは「専門医」のことを指していますか。違う表現に修正した方が良いと思います。

たつの市： 御指摘について、修正いたします。

また、本日の御意見を踏まえ修正した中期計画(案)は、再度書面にて照会をさせていただきます。

(2) 役員報酬等支給基準の変更について【議題2】

たつの市及び病院機構が当日資料(P5～11)に沿って説明

【質疑応答】

当日質問について

委員： 妥当な判断だと思います。

委員： 非常勤職員への対応はいかがですか。

病院機構： 地方独立行政法人化の際に、たつの市の会計年度任用職員とは別の給与規程を定めており、比較しても既に支給額は上回っているため今回は変更なしとしました。

委員： 他の委員はご意見等ございませんか。

全 員 : 意見なし。

(3) 令和5年度上半期の経営状況について
病院機構が当日資料(P12)に沿って説明

当日質問について

- 委 員 : コロナ診療分の収益が66百万円程度減少した中であって、通常診療が48百万円程度増えたと説明がありましたが、主にどの診療科の収益が増えていますか。
- 病 院 機 構 : 病床利用率の上昇により、主に内科中心である入院収益が増えています。
- 委 員 : コロナにより様々な影響を受けましたが、この程度(最小限)の減益で留まっているという認識でよろしいですか。
- 病 院 機 構 : お見込のとおりです。
- 委 員 : 第1期中期目標期間終了時の見込評価では、単回帰分析にて令和5年度末数値を試算しましたが、この上半期実績値との乖離はありますか。
- 病 院 機 構 : 第1期中期目標期間終了時の見込評価では、コロナの影響を受けた令和2~4年度の実績値を用い単回帰分析にて算出しました。コロナの影響をほぼ受けていない令和5年度上半期値と比較すると、特に入院診療単価、経常収支比率の乖離幅は大きくなっています。
- 委 員 : 令和5年度評価時に、単回帰分析にて予想した数値との乖離についてご説明をお願いします。また、第3期に向けて、単回帰分析の手法が適切であったか検証をお願いします。

総括コメント

- 委 員 : 病院改革は非常に順調に進んでいます。また、会議資料等は分かりやすく非常に良くできています。評価委員会からの意見に対しても謙虚に、適切な対応がなされており、事務局の皆様が緊張感を持ち、業務にあたられていることが感じ取れます。

また、法人のガバナンスがしっかりと組織内に浸透されていることが分かります。ガバナンスとは法人の経営者及び役員等の指示、評価、監視(モニタリング)によって動かすものであり、マネジメントとは異なります。

今後とも引き続き、ガバナンスを浸透させ病院改革を進めていただきたいと思います。

3 その他

今後のスケジュールについて

たつの市が参考資料冊子（P53）に沿って説明

4 閉 会（午後4時45分）